

14 それから、主はモーセに仰せられた。今や、あなたが死ぬ日が近づいている。ヨシュアを呼び寄せ、ふたりで会見の天幕に立て。わたしは彼に命令を下そう。それで、モーセとヨシュアは行って、会見の天幕に立った。

15 主は天幕で雲の柱のうちに現われた。雲の柱は天幕の入口にとどまつた。

16 主はモーセに仰せられた。「あなたは間もなく、あなたの先祖たちとともに眠ろうとしている。この民は、はいって行こうとしている地の、自分たちの中の、外の神々を慕つて淫行をしようとしている。この民がわたしを捨て、わたしがこの民と結んだわたしの契約を破るなら、

17 その日、わたしの怒りはこの民に対して燃え上がる、わたしも彼らを捨て、わたしの顔を彼らから離す。彼らが滅ぼし尽くされ、多くのわざわいと苦難が彼らに降りかかる。その日、この民は、これらのわざわいが私たちに降りかかるのは、私たちのうちに、私たちの神がおられないからではないか。』と言うであろう。

18 彼らがほかの神々に移つて行つて行なつたすべての悪のゆえに、わたしはその日、必ずわたしの顔を隠そう。

19 今、次の歌を書きしるし、それをイスラエル人に教え、彼らの口にそれを置け。この歌をイスラエル人に対するわたしのあかしとするためである。

20 わたしが彼らの先祖に誓つた乳と蜜の流れる地に、彼らを導き入れるなら、彼らは食べて満ち足り、肥え太り、そして、ほかの神々のほうに向かい、これに仕えて、わたしを侮り、わたしの契約を破る。

21 多くのわざわいと苦難が彼に降りかかるとき、この歌が彼らに対してあかしをする。彼らの子孫の口からそれが忘れられることはないからである。わたしが誓つた地に彼らを導き入れる以前から、彼らが今たくらんでいる計画を、わたしは知つているからである。』

22 モーセは、その日、この歌を書きしるして、イスラエル人に教えた。

Gen 49:1
「おまわりの日に....

13.14
15 20
16.21
15 12

Rev. 15:3-4 神のしもべモーセの歌とト羊の歌

30 モーセは、イスラエルの全集会に聞こえるように、次のことばを終わりまで唱えた。

32 私のことばは、露のようにしたたる。
天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
青草の上の夕立のように。
私が主の御名を告げ知らせるのだから、
榮光を私たちの神に帰せよ。
私は岩。主のみわざは完全。
まことに、主の道はみな正しい。
主は眞実の神で、偽りがなく、
正しい方である。

曲がりに世代
Ps 32:11 Ps 115 (Eze 36:22)
恵みの雨 vs 悪い火

岩。ことは。
私は主さま。ことはほとにいえ。
信頼 towb 良。パン。感謝。

1コリント10:
御座の岩。キリスト
ヨハネ14...
父のことば。愛。

「知恵」

民さばく

岩。8-14	父曲子。5-7
荒野ご守子 祝福の岩。	思いだせ。
父曲子。19-25	岩 15-18
荒野にす。なりヒメダカイ	忘れた。

復讐と報い。32-35	26-31
復讐と報い。39-43	36-38

アダム。

敵さばく

サタン。

アベル 最良の子羊 4.14
カイン 復讐。頭を震う。血
(367, 13-18)

Gen 4:

いみちを与えよ告

荒野で争子

アバハ.

13

12

11¹¹

10

9

8

7

6

5

「いと高き方が、國々に、相続地を持たせ、人の子らを、振り当てられたとき、イスラエルの子らの数にしたがつて、國々の民の境を決められた。主の割り当て分はご自分の民であるから、ヤコブは主の相続地である。主は荒野で、獸のほえる荒地で彼を見つけ、これをいだき、世話ををして、ご自分のひとみのように、これを守られた。わしが巣のひなを呼びさまし、そのひなの上を舞いかげり、翼を広げてこれを取り、羽に載せて行くよう。堅い岩から油で、これを養い、牛の凝乳と、羊の乳とを、最良の子羊とともに、バシヤンのものである雄羊と、雄やぎとを、小麦の最も良いものとともに、食べさせた。あわ立つぶどうの血をあなたは飲んでいた。」

あなたを壓く建てるのではないか。主はあなたを造った父ではないか。主はあなたを造り上げ、あなたを壓く建てるのではないか。昔の日々を思い出し、代々の年を思え。あなたの父に聞え。彼はあなたに告げ知らせよう。長老たちに聞え。彼らはあなたに話してくれよう。

8-14

25

24

23

22

21

20

19¹¹

18

16¹¹

15¹¹

エシュルンは肥え太ったとき、足だけつた。あなたはむさぼり食つて、肥え太った。自分を造った神を捨て、自分の救いの岩を軽んじた。彼らは異なる神々で、主のねたみを引き起こし、主の怒りを燃えさせた。神ではない悪靈どもに、彼らはいけにえをささげた。それらは彼らの知らないかつた神々、近ごろ出てきた新しい神々、先祖が恐れもしなかつた神々だ。あなたは自分を生んだ岩をおろそかにし、産みの苦しみをした神を忘れてしまった。

32:4
怒り燃えよ。 ← 悪みの雨
わざわい一荒野

荒野に対する

32:4
眞実の神
直ぐさえ。

↔ 4:6 知恵のある民

思い出

vs
忘れた

父

エシュルンは肥え太ったとき、足だけつた。

あなたはむさぼり食つて、肥え太った。

自分を

造つた

神を

捨て

自

分の

救

い

の

岩を

軽んじた。

彼らは異なる神々で、

主のねたみを引き起こし、

主の怒りを燃えさせた。

神ではない悪靈どもに、

彼らはいけにえをささげた。

それらは彼らの知らないかつた神々、

近ごろ出てきた新しい神々、

先祖が恐れもしなかつた神々だ。

あなたは自分を生んだ岩をおろそかにし、

産みの苦しみをした神を忘れてしまった。

ロマ12:19

Rev
22:7
22:12

35 31 34 33 32
 ああ、彼らのぶどうの木は、
 ソドムのぶどうの木から、
 ゴモラのぶどう畑からもの。
 彼らのぶどうは毒ぶどう、
 そのふさは苦みがある。
 そのぶどう酒は蛇の毒、
 コブラの恐ろしい毒である。

36 37 38 39 40 41 42 43
 「これはわたしのものにたくわえてあり、
 わたしの倉に閉じ込められているではないか。
 復讐と報いとは、わたしのもの、
 それは、彼らの足がよろめくときのため。
 彼らのわざわいの日は近く、
 来るべきことが、すみやかに来るからだ。」

27 26
 わたしは彼らを粉々にし、
 人々から彼らの記憶を消してしまおうと
 考えたであろう。
 もし、わたしが敵のののしりを
 気づかつていなければならなかったら。
 彼らの仇が誤解して、
 われわれの手で勝ったのだ。
 これはみな主がしたのではない。』
 と言うといけない。』
 まことに、彼らは思慮の欠けた国民、
 彼らのうちに、英知はない。
 もしも、知恵があつたなら、
 彼らはこれを悟つたろうに。
 自分の終わりもわきまえたろうに。
 彼らの岩が、彼らを売らず、
 主が、彼らを渡さなかつたなら、
 どうして、ひとりが千人を追い、
 ふたりが万人を敗走させたろうか。
 まことに、彼らの岩は、私たちの岩には及ばない。
 敵もこれを認めている。

Lt
26:7.8

Rev.19:2

43 40 41 42 43
 主は御民をかばい、
 主のしもべらをあわれむ。
 彼らの力が去つて行き、
 奴隸も、自由の者も、
 いなくなるのを見られるときに。
 主は言われる。
 彼らの神々は、どこにいるのか。
 彼らが頼みとした岩はどこにあるのか。
 彼らのいけにえの脂肪を食らい、
 彼らの泣きのぶどう酒を飲んだ者は
 どこにいるのか。
 彼らを立たせて、あなたがたを助けさせ、
 あなたがたの盾となせよ。

36 37 38 39 40 41 42 43
 主は御民をかばい、
 主のしもべらをあわれむ。
 彼らの力が去つて行き、
 奴隸も、自由の者も、
 いなくなるのを見られるときに。
 主は言われる。
 彼らの神々は、どこにいるのか。
 彼らが頼みとした岩はどこにあるのか。
 彼らのいけにえの脂肪を食らい、
 彼らの泣きのぶどう酒を飲んだ者は
 どこにいるのか。
 彼らを立たせて、あなたがたを助けさせ、
 あなたがたの盾となせよ。

38:29 | Ge15:1
 最後

主の民、主のしもべ

主の民、主のしもべ。

申28
Lt 26